

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	農業簿記	担当	元税理士職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	時間数（単位数）	32 時間（2単位）	
授業形態（○）	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実験	<input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可）	
農業簿記記帳の基本を習得する。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業簿記の基礎</li> <li>  農業簿記の演習</li> </ul>	

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1回	農業簿記について
第2回	記帳の演習
第3回	記帳の演習
第4回	記帳の演習
第5回	記帳の演習
第6回	記帳の演習
第7回	記帳の演習
第8回	記帳の演習

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入
農業簿記検定教科書 大原出版
講師自作演習問題

到達目標
○ 農業簿記記帳方法に沿った記帳ができる。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
○ 記述テスト    ○ 出欠状況    ○ 提出物の有無と内容
○ 授業態度

評価基準
<p>本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。</p>

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	農産物流通	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/>	時間数(単位数)	16時間(1単位)	
授業形態(○記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実験	<input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)

流通の現場を研修し、農産物流通の実際を学ぶ  
食糧(米)流通の現場と、青果物の市場、市場外流通の現状を学ぶ

授業内容(4時間を1回分とした内容)

第1回(4時間)	「米流通の現状」精米工場見学、食の安心、安全な取組。
第2回(4時間)	「青果物流通の現状」青果物の市場流通システム見学。
第3回(4時間)	「市場外流通の現状」青果物の直売所などの流通システム見学
第4回(4時間)	流通の仕組み、機能・役割と流通に係る問題と対応策についての講義。
第5回(4時間)	
第6回(4時間)	
第7回(4時間)	
第8回(4時間)	

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入

食料・農産物流通論

到達目標

見学を通じて、農産物の流通実態と、食品加工の実際を知る。  
流通の仕組みと機能・役割について知る。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))

記述テスト     出欠状況     提出物の有無と内容  
 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	農産物マーケティング	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
科目の種別	教養 共通 <input checked="" type="radio"/> 専攻	対象学生	1年 <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農		
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数(単位数)	16 時間 (1単位)		
授業形態 (○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義	<input type="radio"/> 演習	<input type="radio"/> 実験	<input type="radio"/> 実習	<input type="radio"/> 見学

科目内容 (教育研修計画より転記も可) マーケティングの手法、ブランド化に必要な商品コンセプト、ブランディングまでの流れを学ぶ。
---

授業内容 (4時間を1回分とした内容)	
第1回 (4時間)	マーケティングの目的とポイント、具体的な手法等
第2回 (4時間)	産地を取り巻く環境と消費者動向の把握
第3回 (4時間)	商品コンセプトの作り方
第4回 (4時間)	ブランドの強み、目線の置き方、伝え方、ターゲット等

使用教科書 (テキスト) 書籍名、自作資料の内容を記入   
---

到達目標 農業経営に必要なマーケティング手法、ブランド化の知識の理解。
--

評価で重視する内容 (テスト・レポート等の有無、その他 (授業態度・出欠)) <input type="radio"/> 記述テスト <input type="radio"/> 出欠状況 <input type="radio"/> 提出物の有無と内容 <input type="radio"/> 授業態度
--

評価基準 本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。
--

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	農業技術概論 I	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	時間数 (単位数)	16時間 (1単位)	
授業形態 (○記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 見学			

科目内容 (教育研修計画より転記も可) 稲・麦・大豆生産技術の概要 本県の土地利用型経営の特徴 野菜栽培に関する基本的な作業名や作業の目的について。 少量土壌培地耕の構造や特徴について。 滋賀県の野菜生産の現状について。
---

授業内容 (4時間を1回分とした内容)	
第1回 (4時間)	野菜栽培管理用語について、少量土壌培地耕について
第2回 (4時間)	施設栽培と露地栽培について、滋賀県の野菜生産について
第3回 (4時間)	滋賀県農業の特徴、本県稲作 (土地利用型農家) の取り組み農業の始まり、作物の分類、農大での取組
第4回 (4時間)	お米の品種、稲作農家の1年(稲、麦、大豆)、土地利用型経営の特徴 (園芸品目との比較)

使用教科書 (テキスト) 書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料：野菜栽培に関する用語解説、野菜の分類、少量土壌培地耕について、野菜生産出荷統計、近江の野菜生産振興指針等 滋賀の農林水産業 自作資料：稲作農家の1年	

到達目標	
野菜栽培に関する基本的な用語や野菜の分類を理解する。 滋賀県開発の野菜の少量土壌培地耕について、システムの構造や特徴を習得する。 滋賀県の野菜生産や野菜振興策について知る。稲・麦・大豆生産技術の概要が理解できている。 本県の土地利用型経営の特徴が理解できている。	

評価で重視する内容 (テスト・レポート等の有無、その他 (授業態度・出欠))	
<input type="checkbox"/> 記述テスト <input type="checkbox"/> 出欠状況 <input type="checkbox"/> 授業態度	

評価基準	
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。	

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	農業技術概論Ⅱ (花・果樹)	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
-----	-------------------	----	---------	---

科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	1年 <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農 <input type="radio"/>
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数 (単位数)	16時間 (1単位)
授業形態 (○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input type="radio"/> 演習 <input type="radio"/> 実験 <input type="radio"/> 実習 <input checked="" type="radio"/> 見学		

科目内容 (教育研修計画より転記も可)
花き栽培に関する基本的な作業名や作業の目的について。 果樹生産技術の概要

授業内容 (4時間を1回分とした内容)	
第1回 (2時間)	果物の雑学・豆知識
第2回 (2時間)	花きの雑学・豆知識
第3回 (2時間)	花・果樹研究部における最新研究の現状
第4回 (2時間)	花・果樹研究部における最新研究の現状
第5回 (2時間)	全国における滋賀県果樹農業の現状・特徴
第6回 (2時間)	全国における滋賀県花き農業の現状・特徴
第7回 (2時間)	滋賀県果樹農業における各品目の現状・特徴
第8回 (2時間)	滋賀県花き農業における各品目の現状・特徴
使用教科書 (テキスト) 書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料	

到達目標
花き・果樹栽培への関心を高めつつ、本県花き・果樹農業の現状および課題、今後の展開方向について理解を深める。 また、本県開発されたイチジクのポット栽培やナシの低樹高栽培、ブドウの改良仕立て等の概要について理解を深める。

評価で重視する内容 (テスト・レポート等の有無、その他 (授業態度・出欠))
<input type="radio"/> 記述テスト <input type="radio"/> 出欠状況 <input type="radio"/> 授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	農業機械（学科）	担当	県大職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 見学 <input type="checkbox"/> 実技			

### 科目内容（教育研修計画より転記も可）

1. 農業機械と農作業－意義と役割    2. エンジンの基礎知識    3. トラクタの構造と機能  
 4. 主要農業機械の構造と機能  
 5. 整備と安全作業

### 授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	耕うん整地用機械の構造と作業方法
第2回（4時間）	稲作用機械の構造と作業方法
第3回（4時間）	稲作用機械の構造と作業方法、乾燥調製施設の構造
第4回（4時間）	農作業安全、畑作用機械の構造と作業方法
第5回（4時間）	
第6回（4時間）	
第7回（4時間）	
第8回（4時間）	

### 使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

- ・「新版 農業機械の構造と利用」藍房和他著
- ・その他持込み資料

### 到達目標

- ・農業生産や農業経営などで必要となる知識の一環として水稲、麦、大豆作りに代表される生産において、主として利用される農業機械や施設の概要について理解する。

### 評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト     出欠状況     授業態度

### 評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	農業機械（実技）	担当	農大職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 就農	
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数（単位数）	32時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="radio"/> 講義	<input type="radio"/> 演習	<input type="radio"/> 実験	<input type="radio"/> 実習 <input checked="" type="radio"/> 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可） 農業機械の役割と利用を学習し、基本的な機械の種類と使用方法を理解させる。
--

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1回（4時間）	農業機械の利用と種類及び農業機械による事故と安全な作業
第2回（4時間）	トラクタの基本構造の理解と運転方法（大特免許取得に向けて）
第3回（4時間）	トラクタの点検・整備、工具の種類と扱い方
第4回（4時間）	トラクタの安全な作業方法、燃料と潤滑油、タイヤの構造
第5回（4時間）	内燃機関全般の構造、電動機の構造、溶接の方法
第6回（4時間）	トラクタ作業機の種類とその操作について
第7回（4時間）	トラクタ研修
第8回（4時間）	牽引研修
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
農文協「農業機械の構造と利用」	

到達目標
・大特農耕用免許取得及びけん引免許取得を目指し、基本操作取得を目指す 斗ともに、安全にトラクタ作業ができるようトラクタ構造を理解を目指す。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
●記述テスト    ●出欠状況    ○提出物の有無と内容 ●授業・見学研修態度

評価基準
教科書の内容を理解度と農作業の安全等についてのDVDによる学習理解度を試験で判断し、ヤンマーミュージアム見学の感想文を提出させ、出席も判断材料に総合的に評価する。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	土壌肥料	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/>	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 見学			

科目内容（教育研修計画より転記も可）

1. 土壌の性質と作物
2. 農地土壌の特徴とその管理
3. 土壌の保全と土壌診断

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	土壌の性質と作物他
第2回（4時間）	土壌中の有機物の役割他
第3回（4時間）	農地土壌の特徴とその管理他
第4回（4時間）	土壌の保全と土壌診断他
第5回（4時間）	
第6回（4時間）	
第7回（4時間）	
第8回（4時間）	

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

- 土壌の基礎知識

到達目標

- 土壌の性質や土壌中の有機物の役割について基礎的な知識が身についている。
- 農地土壌の特徴や管理について基礎的な知識が身についている。
- 土壌の保全や土壌診断についての基礎的な知識が身についている。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト    ○ 出欠状況    ○ 提出物の有無と内容
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。



## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	農薬概論	担当	大学教員	実務経験	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農			
学期	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期	時間数(単位数)	16時間(1単位)			
授業形態(○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義	<input checked="" type="radio"/> 演習	<input type="radio"/> 実験	<input type="radio"/> 実習	<input type="radio"/> 見学	

### 科目内容(教育研修計画より転記も可)

1. 農薬を理解するための化学知識の習得
2. 農薬およびその使用に関する基礎知識の習得

### 授業内容(4時間を1回分とした内容)

第1回(2時間)	農薬とは, 農薬の安全性(1)
第2回(2時間)	農薬とは, 農薬の安全性(2)
第3回(2時間)	農薬の発達と変遷, 農業生産における農薬の役割(1)
第4回(2時間)	農薬の発達と変遷, 農業生産における農薬の役割(2)
第5回(2時間)	農業用殺菌剤の種類と概要(1)
第6回(2時間)	農業用殺菌剤の種類と概要(2)
第7回(2時間)	殺虫剤, 除草剤, 植物生育調節剤の種類と概要(1)
第8回(2時間)	殺虫剤, 除草剤, 植物生育調節剤の種類と概要(2)

### 使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入

- 毎回プリントを配付する。参考図書も講義の中で適宜紹介する。

### 到達目標

- 農薬の定義, 農薬の安全性について理解することができる
- 農薬の発達と変遷, 農業生産における農薬の役割について理解することができる
- 農業用殺菌剤の種類と特性について理解することができる
- 殺虫剤, 除草剤, 植物生育調節剤の種類と特性について理解することができる

### 評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))

- 記述テスト    ○ 出欠状況    ○ 提出物の有無と内容
- 授業態度

### 評価基準

本講座は, 講義を主とする科目であることから, 評価は筆記試験やレポート等の成績のほか, 出席日数, 受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により, 50点以上を合格とし, 50点未満を不合格とする。なお, 成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について, 本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし, 追試験による合格の評価は可とする。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	6次産業化農業	担当	大学教員	実務経験 有
-----	---------	----	------	--------

科目の種別	共通	対象学生	2年
学期	後期	時間数(単位数)	32時間(2単位)
授業形態(○記入)	講義 演習		

科目内容(教育研修計画より転記も可)			
1 第6次産業化の意義 2 直売経営の特徴 3 農産加工の実際・製造現場			
4 マーケティング(消費者ニーズの把握、ブランドとデザイン)			
5 加工・直売上の注意事項(表示、生産管理工程等) 6 事例研修および講演 7 視察			

授業内容(4時間を1回分とした内容)	
第1回(4時間)	6次産業化の意義(先駆的農業経営=攻めの農業) ケースメソッド
第2回(4時間)	農産物流通とマーケティング(これからの農業経営) ケースメソッド
第3回(4時間)	加工品開発の実際(品質管理・衛生管理等) 先駆的経営者に学ぶ
第4回(4時間)	グループワーク(6次産業化事業計画の検討策定) プロセスの理解販売と生産のバランス事業計画の発表と診断(実現可能性・組織体制) おもてなしの精神
第5回(8時間)	視察
第6回(8時間)	視察

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料: 「攻めの農業の推進者たれ!」「農産物流通とマーケティング」 「総合化事例から学ぶ」「農業経営の多角化」「総合化事業計画作成演習」 「アグリビジネスとおもてなし」	

到達目標	
座学・ケースメソッド・グループワーク(PBL手法)を通じて多様な考え方を修得し、事業計画演習によりマーケティングプロセスを理解することで、実際の農業経営に反映できる。	

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))	
○記述テスト ○出欠状況 ○授業態度	

評価基準	
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。	

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	特殊技術学習	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input type="radio"/> 演習 <input type="radio"/> 実験 <input type="radio"/> 実習 <input type="radio"/> 見学			

科目内容（教育研修計画より転記も可）

1. 基礎化学の習得
2. 危険物取扱者（乙種4類）資格取得に必要な知識の習得

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	物理学と科学の基礎知識の習得、小テスト
第2回（4時間）	危険物の性質ならびにその火災予防、小テスト
第3回（4時間）	危険物に関する法令、小テスト
第4回（4時間）	模擬試験

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

乙種第4類危険物取扱者合格テキスト&問題集（高橋書店）

到達目標

- 基礎的な化学の知識が習得できている
- 危険物取扱者（乙種4類）資格取得に必要な知識の習得ができている

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 出欠状況
- 授業態度
- 模擬試験

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は模擬試験等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	労働衛生	担当	理学療法士	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 共通 <input checked="" type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input checked="" type="radio"/> 演習	実験	実習	<input checked="" type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 実技

科目内容（教育研修計画より転記も可）	
1. 農業労働の特徴    2. 農作業安全と作業環境の改善 3. 労働設計の樹立	

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1回（4時間）	労働におけるけが・疲れ
第2回（4時間）	熱中症、労働での身体負担
第3回（4時間）	腰痛・肩こり、振動、騒音
第4回（4時間）	労働安全実地実習（生産農家）
第5回（4時間）	
第6回（4時間）	
第7回（4時間）	
第8回（4時間）	
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
自作教材・自作資料	

到達目標
労働衛生について理解を深めるとともに、安全衛生の基本的な事柄を自分で説明できる。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
<input type="radio"/> 記述テスト <input type="radio"/> 出欠状況 <input type="radio"/> 提出物の有無と内容 <input type="radio"/> 授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	環境と農業	担当	大学教員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/>	時間数(単位数)	32時間(2単位)	
授業形態(○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input checked="" type="radio"/> 演習	実験	実習	見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 食の安全と農業               | 2. 資源循環型農業のあり方と展開方向 |
| 3. 滋賀県の環境と農業技術(環境こだわり農業) |                     |
| 4. 総合的病害虫管理技術            | 5. 有機農業の技術と認証       |

授業内容(4時間を1回分とした内容)

第1回(4時間)	I. 地球温暖化について
第2回(4時間)	II. 農業による環境汚染 II-1. 食の安全と農業食料自給率の現状
第3回(4時間)	II-2 農業生産による環境汚染(1)資源循環型農業のあり方
第4回(4時間)	II-2. 農業生産による環境汚染(2)
第5回(4時間)	III. 農業からの環境保全方策 III-1. 環境保全への指針
第6回(4時間)	III-2. 農業生産現場での環境保全 滋賀県の環境と農業技術(環境こだわり農業)
第7回(4時間)	III-3. 農業による地域の活性化
第8回(4時間)	III-4. 獣害問題の現状と対策 総合的病害虫管理技術

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入

講義の中でプリントを配布する。

到達目標

地球温暖化(気候変動)に対する理解を深めるとともに、地球温暖化と農業との関係、農業が環境汚染の加害者と被害者の両面を有していることを理解しながら、農業が環境保全に貢献する産業となるための環境保全指針について理解と知識を深めることを目標とする。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))

- 記述テスト   
 出欠状況   
 提出物の有無と内容  
 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	情報処理Ⅱ	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 教養 共通 専攻	対象学生	1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 後期	時間数(単位数)	16時間(1単位)	
授業形態(○記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習	実験	実習	見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)	
1. データ整理と図表作成 2. プレゼンテーション用ソフトの利用技術 3. 情報リテラシーについて	

授業内容(4時間を1回分とした内容)	
第1回(4時間)	データ収集と活用(表・グラフの作成)
第2回(4時間)	データ収集と活用(表計算の利用)
第3回(4時間)	効果的なプレゼンテーションの実践
第4回(4時間)	情報リテラシーの向上

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料①表・グラフを活用したレポートの作成、②2軸のグラフ作成、③統計・論理関数を活用したデータ整理、④プロジェクトスライド様式作成	
使用資料 総務省ICTメディアリテラシー教材	

到達目標	
① 表・グラフを活用したレポートが作成できる。 ② 生育データ等の集計に表計算ソフト(関数等)が活用できる。 ③ プレゼンソフトによって、見やすい発表用スライドが作成できる。 ④ 情報リテラシーについて理解している。	

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))		
○出欠状況	○提出物の有無と内容	○授業態度

評価基準
本講座は、演習を主とする科目であることから、評価は提出物、レポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	気象と農業災害	担当	元高校教員（農業）	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/>	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実験	<input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 見学

### 科目内容（教育研修計画より転記も可）

- 気象概論と滋賀の気象      ○ 気象災害と対策
- 気象情報の入手と活用      ○ 獣害対策

### 授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	気象概論と滋賀の気象
第2回（4時間）	彦根地方気象台見学研修
第3回（4時間）	獣害対策現地研修
第4回（4時間）	気象災害と対策、気象情報の入手と活用

### 使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

気象庁の気象・気象災害の資料、自主教材 等

### 到達目標

滋賀県の気象の特徴を把握し、農業における気象災害を予見するとともに必要な対策を講じることができる。また、獣害を防ぐ方法について基本的な知識を身につける。

### 評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト      ○ 出欠状況      ○ 提出物の  有  無と内容（現地研修レポート）
- 授業態度

### 評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	スマート農業	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/>	時間数（単位数）	16時間（1単位）	
授業形態（○記入）	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 見学			

科目内容（教育研修計画より転記も可）	
<p>農業就業人口の減少や農作業従事者の高齢化に伴い、農業の超省力化や高品質な農産物の安定生産等が求められている。そこで、それらを可能にする農業分野での新たな技術として近年注目される、農業でのドローンの活用、クラウド型農業管理システム、環境制御ハウスや自動運転トラクターといったスマート農業についての理解を深める。</p>	

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1回（4時間）	スマート農業について（座学）
第2回（4時間）	ICT施設の環境制御について（演習）
第3回（4時間）	クラウド型農業管理システム（栽培ナビ）について（演習）
第4回（4時間）	農業機械による先端技術活用事例について（見学）
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
図解でよくわかるスマート農業の基本（誠文堂新光社） 農機メーカー商品カタログ 等	

到達目標	
各専攻の分野での先端技術の見学や演習を通じ、省力化や高品質化に向けた取組への理解が深まる。	

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）			
○記述テスト	○出欠状況	○提出物の有無と内容	○授業態度

評価基準	
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。	



## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	農産物生産管理(GAP)	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/>	時間数(単位数)	時間(1単位)	
授業形態(○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input checked="" type="radio"/> 演習	実験	実習	<input checked="" type="radio"/> 見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)
GAP演習(作業行程確認、リスク評価、改善策検討、手順書作成など) 先進農家の取り組み事例の見学

授業内容(4時間を1回分とした内容)	
第1回(4時間)	GAP認証の仕組み メロンのリスク評価の説明と深化に向けた演習
第2回(4時間)	各専攻の生産改善のための演習 ① 現状把握(作業行程確認、リスク評価) ② 改善策の検討、手順書等の作成、改善の実施
第3回(4時間)	各専攻の生産改善のための演習 ① 改善策のまとめ、発表準備 ② 発表と評価
第4回(4時間)	先進的な取り組み生産者の見学: 浅小井農園等
使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料: GAP認証の仕組み、メロンのリスク評価ワークシート など	

到達目標
講義・演習を通じてGAP認証の仕組みを身につけている。 リスク評価を通じ、リスク対策への取り組み意識が身についている。 GAP認証の継続取得にむけた準備ができる。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))
<input type="radio"/> 記述テスト <input type="radio"/> 出欠状況 <input type="radio"/> 提出物の有無と内容 <input type="radio"/> 授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	複合経営・多角経営	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/>	時間数(単位数)	16時間(1単位)	
授業形態(○記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習	実験	実習	<input checked="" type="checkbox"/> 見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)

1. 土地利用型(水田)農業の成り立ちおよび経営の発展
2. 複合経営・多角経営の取り組み状況
3. 複合化の技術(省力稲作、少量土壌培地耕、ポット栽培等)

授業内容(4時間を1回分とした内容)

第1回(4時間)	1 土地利用型(水田)農業の成り立ちおよび経営発展の方向性 圃場整備、転作の経過、稲作経営の発展
第2回(4時間)	1 経営の複合化と多角化(定義) 2 県内農家の取り組み状況、複合化および多角化(直売、契約、観光、加工、輸出)の現状
第3回(4時間)	1 複合経営で取り込まれる技術について ・省力稲作・少量土壌耕・プランター栽培・果樹のポット栽培 2 施設園芸の基礎(溶液栽培の仕組み、ビニールハウスの構造)
第4回(4時間)	効率化・複合化・多角化に向けたシミュレーション、経営体(法人)の経営計画検討

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入

滋賀の農林水産業 抜粋

到達目標

複合経営・多角経営の現状が理解できている。  
日本の農業の成り立ちが理解できている。  
複合経営の効率化・複合化・多角化に向けた経営計画検討ができる。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))

- 記述テスト     出欠状況     提出物の有無と内容  
 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

## 滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	農業機械実習	担当	県農業技術職員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	時間数（単位数）	32時間（1単位）	
授業形態（○記入）	講義	演習	実験	<input checked="" type="radio"/> 実習 <input type="radio"/> 見学

科目内容（教育研修計画より転記も可） 主要な農業機械について基本操作の手法を学ぶ。 ＊第1～3回は前期、第4回は後期に実施する。 専攻ごとに実施する。
--

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1回(8時間)	小型特殊自動車（運搬車）の構造、安全な運転方法
第2回(8時間)	刈り払い機の構造、安全な除草方法
第3回(8時間)	防除機、動力散布機、管理機の構造、安全な操作方法
第4回(8時間)	トラクタへの作業機の着脱、トラクタによる安全な耕起作業

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入
自作資料 各機械取扱説明書 他

到達目標
農作業に必要な農機具の操作方法の習得

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
<input type="radio"/> 授業態度 <input type="radio"/> 出席日数

評価基準
本講座は、実習科目であることから、評価は出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。